

おきてはいけない戦争

子ども平和新聞

2025.7.29
大成小5年(野崎 恵孝)
大谷小5年(阿部 楓月)
田間宮小6年(梅田 翠樹)
瀬田中学校1年(井 陽向)

人々の命がうばわれる

戦争は、食べ物も、
ししか食べられないう
えに、命もたくさん
ばわられてしまう。
木内さんは、小学
年生のときに、分校で
石けり遊びをいたし
きに、空がビカッと
かり気をつけてしま
いました。するとあた
りはずり暗く、大島で
人びいた夜通を失っ
てしまいました。この

うなこともあり、空
が赤い色に染まり、
あんなに怖い出ナイ
ぞうです。そして、
人びただけ、生きて
るんだろ、とみんな
思うこともあったそ
です。
食べ物もあまりおい
しくなく、そのうえ
しかたがたで、ま
ま、このころから
なまじりかたといま

戦地で救命 殉職救護員



目をたたえる文章が刻
まれている。毎年五月
には追悼式を行うそう
だ。この慰霊碑が戦争
の悲惨さを思い出させ
るきっかけとなり、平
和な世の中になると願
っている。(平井)



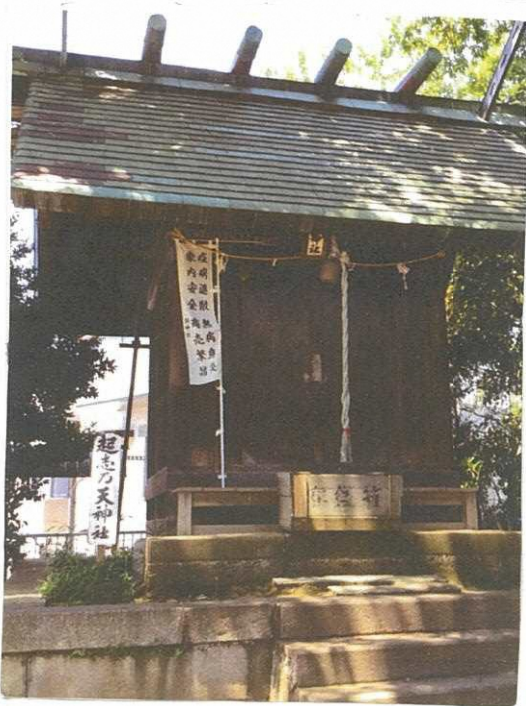
平和新聞をかいたため
実際に戦争を体験し
た、被爆者の木内さ
んに話をききました。
当時の話をしながら木
内さんは涙を流し
ていました。なぜだ
ろ、たのびよう木内さ
んは自分がみんなを助
けたいという思いでか
んご小になり、今でも
戦争はおきてはならな
いものという気持ち
強くもっていました。

平和をいえる



当時、何が起きていたかわからなかった
語り 木内 さん

天皇の権威をまもる



御真影をまつる奉安殿

日本赤十字社埼玉県
支部の敷地内に「殉職
救護員之碑」という銅
像がある。これは海外
に派遣された救護員が
戦争によって職務中に
亡くなった人をたたえ
る碑だ。
碑の表には殉職した
三十三名の名前が、碑
の裏には殉職した救護
員の名前が刻まれている。

奉安殿は昭和50年に
どの学校にも立てられ
た。奉安とは宮に奉
る大切なものを保つ
ること。戦時、戦後
も大切にされた御真
影(天皇皇后の写真)
をまつる奉安殿の特
別な建物や奉安殿とい
う、毎日の登下校の時
に、奉安殿に対する礼
を欠かさないといっ
た生徒へのしつけにも
わたった。つまり、天
皇の権威を日常的に感
じさせるものだった。
また、戦後、奉安殿
は取り壊されたが、地
域によっては神社とし
てそのまま残されてい
るものもある。(阿部)

今でも戦争への活動
が続いており、昨年木
内さんが活動をしてい
る日本被爆協議会がノ
ベル平和賞を受賞され
ました。木内さんは実
際に戦争を体験した人
で、もう二度とおきな
いように強くねがった
らう。その思いの今でも
元気に活動しているの
が、心に残ります。木
内さんのあの姿が、今
の木内さんの力にな
っているかもしれない。
でも、今でも世界で戦
争は起きている。木内
さんのお話を聞いて、
戦争はなくなると思
っています。(阿部)